

第2章

外部評価導入までの経緯

平成12年度の自己評価委員会では、前年度委員会からの引継事項となっている外部評価の実施について最優先の議題として審議をはじめた。

委員会では、前年度委員会で承認されている外部評価導入の理念・基本方針を改めて確認したうえで、評価項目、実施方法等の検討に入った。

評価項目については、本学の全ての分野を評価項目として外部評価を実施するとその準備に多大な期間が必要となり、年度内の実施が難しいことから、前回の自己点検後、時間的な経過や自助努力などにより変化が著しく再度自己点検が必要な項目、本学のために一層の充実が望まれる項目、について外部評価を実施するのが適当であるとした。審議の中で大学の根幹部分といえる教育・研究について評価を行うべきとの意見も出されたが、検討の結果、評価項目を「大学院」と「国際交流」とした。

実施方法については、前年度委員会の案では「外部評価準備委員会」を設置することとしていたが、自己点検・評価活動に対して外部から評価を受けるという方針に照らして考えると、外部評価は自己点検・評価の延長線上にあることから、外部評価の実施にあたっては新たな委員会を設けず、自己評価委員会を中心に対応することとした。以上の審議を経て平成13年6月21日開催の教授会で外部評価の実施について了承された。以下は、自己評価委員会での審議の経過である。

開催日	審議経過概要
平成13年4月19日	前年度委員会からの引継事項の確認
平成13年5月10日	外部評価導入までの経緯の確認
平成13年5月24日	外部評価の実施について平成12年度実施することを承認
平成13年6月7日	評価項目を「国際交流」と「大学院」とすることで承認
平成13年6月14日	評価スケジュール等実施案を審議
平成13年6月21日	外部評価実施を教授会に提案、承認される。

教授会で「国際交流」、「大学院」を評価項目として外部評価を実施することが承認された後、自己評価委員会では、ただちに外部評価委員の選出の審議に入った。選出方法は評価実施主体などが

ら候補者を推薦してもらい、自己評価委員会で5名程度に候補者を絞ったうえで教授会に提案をすることとした。また、委員には本学に関係があり、かつ民間人を含めることとした。審議の結果、下記の5名を外部評価委員候補者として選出して、平成12年12月20日開催の教授会で候補者全員が外部評価委員として承認された。

外部評価委員（敬称略，五十音順）

内 田 和 男	北海道大学経済学部長
小 原 芳 春	（社）緑丘会理事長
○土 橋 信 男	北星学園大学教授
廣 重 力	北海道医療大学長
堀 江 学	（財）日本国際教育協会留学情報センター主幹

○印 委員長